

公益信託世田谷まちづくりファンド

第26回助成事業 審査講評

まちづくり活動部門

【3回目応募グループ】

<4-1 暮らしの中で和を楽しむ会、柏葉会>

- ・本ファンドを通して、多様なグループとのつながりが生まれ、それぞれの活動につながっていることは素晴らしいことだと思います。いままでの活動やグループとの連携、旧小坂邸という貴重な資源をベースに、「暮らしの中で楽しむお茶会」をこれまで通りはぐくみながら、オリンピックを見据えた新たな取り組みにもチャレンジしてってください。
- ・世田谷の貴重なみどりの生命線である国分寺崖線に位置する小坂邸を舞台に、和の心を伝える活動をされているということで、活動部門も三年目となりました。活動そのものが素晴らしいのですし、昨年度エコデモ財団が貴団体の活動に密着して得た成果発表を聞いた時に、和の取り組みと、保存再生された古民家や庭園、崖線の地形や自然がそれぞれに関係しあっている取り組みだということを感じました。こうした活動の広がりが多くの人に伝わっていくことを期待しています。また、3回目ということで、ファンドが終了した後に、この活動をいかに継続させていくかといったことも視野にいれながら、進めていただければ幸いです。
- ・国分寺崖線で季節折々の自然や文化に触れることは、世田谷の風土を再確認させてくれる貴重な機会ですし、他団体とのネットワークが広がっている点も素晴らしいと思います。収益を得るのが困難な企画であることは承知していますが、活動部門助成の最終年度として、来年度以降も持続可能となるような活動方法を検討する一年にしてください。

< 4 - 2 紙風景 >

- ・活動先が増え、活動が着実に前進しています。またメンバーや協力先も広がっていることが応募書を拝見してうかがえました。貴グループの、紙工作の創作活動は年齢を問わず、どんな人に対してもかけがえのない時間を提供しています。この活動を応援して良かったですし、世田谷に定着しますます広まってほしいと思っています。

活動をさらに展開させる案として、コンテンツを探しているグループと連携するのもいいと思います。たとえば、身近なところでは、今回の助成先の、みんなのコミュニティさくら、中町コミュニティサロンプロジェクトなど、場所を活用して交流の場をつくりたいと考えているグループとのコラボです。めざすことが共有できれば、一緒に活動できると思いますので、ぜひ、相談してみてください。

また、助成3年目ですから、活動の資金面をどうするか、いよいよ具体化する必要がありますね。その点、審査会中に話題となった「キラ星部門」へのチャレンジは一案です。あらためて作品の価値をどうみるのか、客観的なアドバイスをもらう機会にもなると思います。さらには、作品としての販売収益を活動資金にあてるという方針を柱にしつつも、材料の紙の入手や制作時の省力化などいろいろとお試しするプロセスが欠かせないと思います。そのための資金を助成事業に応募するという考え方は充分にあると思います。今後の活動を楽しみにしています。

- ・3年目の申請お疲れ様でした。全体の支出に対して謝金・消耗品で約7割でした。助成金は本年度で終了ですので今後の継続を考えるとこの部分の割合が高いと心配です。子どもから高齢者までと一緒に世田谷の『まち』の風景を作ることは有意義だと思いますので今後の活動を期待しています。
- ・審査会の会場に展示されていた世田谷の紙風景を見て、だれもがほっこりした気分になったのではないのでしょうか？子どもから大人まで世田谷を愛する気持ちを呼び起こすこの活動はずっと続けていただきたいのですが、そのためには活動資金の確保が必須です。大人向け有料WSの開催や立体カードを「世田谷みやげ」として販売するなど手段はたくさんあるようなので、マネタイズに成功したファンダ助成団体などに相談して、その道を探ってください。

＜ 4－3 世田谷楽しいコミュニケーショングループ＞

- ・コミュニケーションは本当に大切だと思います。一方で多くの方々は恥ずかしがって、少し遠ざけてしまうかもしれません。プロジェクトを説明する上で、少しユニークな合言葉を検討してはいかがでしょうか。今後の活動の広がりを期待しています。
- ・コミュニケーション能力の向上のための即興表現という新しい手法に期待しています。自律的な運営に向けた仕組みづくりにも、是非挑戦していただければ。
- ・即効表現ワークショップには多くの参加者を得るよう、募集 PR に工夫をしていただきたい。活動拠点を設けての定例活動では認知度を上げる取り組みも行いながら、ファンド終了後の運営も考えた取組みを期待する。

＜ 4－4 学習支援ボランティア 桜んぼ塾＞

- ・家庭環境によって学習環境が大きく左右されてしまう今の日本において、とても大切な事業に丁寧に着実に取り組んでいただき、ありがとうございます。子どもや保護者が安心して学習に取り組める活動が地域社会全体の中で大切であることが伝わり、多くの人に関わりやすいような事業の設計に期待します。
- ・来年度以降の展開のために、今年はぜひ準備に時間をかけてみてください。教材をつくったり、多くの人に知ってもらうための広報ツールを作るには時間がかかります。その日その日の作業以外の時間を戦略的に作るようにしてください。ファンド終了後も応援しています。
- ・学習支援は必要性が高い取り組みであり、支援対象者と年齢の近い大学生が担い手であることは大きな強みだと思います。活動部門助成の最終年となる今年は、寄付集めにも力を注いでいただき、来年度以降の持続可能な仕組みの構築につなげて下さい。昨年度から始めた SNS の活用等は賛同者を増やす上で有用だと思います。

< 4-5 ミュージック&ネイチャー >

- ・世田谷まちづくりファンドを受けて3年目の活動になりますね。報告資料を拝見し、ワークショップやコンサートも回数を踏み、開催先も広がっている様子がわかりました。モンタナさんと一緒に音楽にふれ、元気を取り戻す方が一人でも増えますよう、活動を続けていただきたいと思っています。

今回でファンドは卒業なので、今から、次のステップについて考えておく必要があるとお思います。たとえば、活動を伝える媒体を作成しておくことも次に繋がる一案です。もともと応募書には冊子の作成費用が計上されていますが、その中に活動の写真を多用に盛り込んでおくとか、貴グループの楽しさやワクワク感が伝わるように映像化しておく方法もあります。いずれにしても、貴グループの活動の意義が伝わりやすいという点がポイントだと思います。今後の活動へ、賛同や協力をはたらきかける際、そうした媒体があると役立つと思います。

- ・3年目の申請お疲れ様でした。全体の支出に対して交通費の占める割合が大きかったです。1年目の団体で音楽療法の団体が2つありましたので連携等をして経費の負担を減らすなど工夫してください。ガイドブックは助成金のあるうちに是非作成して来年以降の自立した時にも使える様にしてください。期待しています。
- ・音楽の力、人の表現する力、とても魅力的なモンタナ・キングさんが、まちづくりファンドを通して、どんな「まちづくり」としての化学反応につながったのか？3回を通して、どんなこれからの広がりにつながっていくのか？そんなこれまでとこれからのまちづくりの物語を最後に聞いてみたいです。いきいきガイドブックの完成もふくめて楽しみにしております。

< 4-6 おひるのかほり >

- ・キラ星のチャレンジを経て、等身大の関わり方をしっかりと築かれたように感じます。何より自分たちが楽しむことが一番であることは言うまでもありません。引き続き、息の長い活動を楽しみにしています。
- ・子育て×カルチャーという軸がぶれず、着実に活動を継続され、他団体との連携、他企画との連動への取組みなどを大いに評価します。さ

らなる活動の充実を期待します。

- ・本企画は、社会的ニーズを的確に捉えられており、だからこそ、認知度も高く、集客にも成功していると思います。外部とのネットワークやアートの活用も目を見張るものがありますし、今後を見越した事業のデザインも素晴らしいです。この一年間の取り組みが、活動部門助成が終了する来年度以降の礎となることを心から願っております。

< 4-8 ウルトラキッズ応援団 >

- ・都会でありながら、豊かな自然環境の中で自由に遊べることは、子どもたちにとっても、とりまく大人にとってもとても大切なことだと思っています。子どもたちの生き生きとした声が聞こえるまちにするために、組織づくりも重要ですので、ぜひ事業をしっかりとささえる組織であるために必要なチャレンジに取り組んでください。
- ・活動部門 3 回目となりますが、これまで運営経験を積むこと、メンバーを増やすこと、地元の理解を得ることのためにファン্ডを有効活用していただけたと感じます。もう少し時間が必要そうですが、行政との協力関係を含む安定的運営体制の確立を目指して、この一年間活動に取り組んでいただければ幸いです。
- ・児童館等と連携し、活動の拡充に取り組みむなど努力が感じられますが、ファン্ড終了後の運営基盤をどのように確保するのか、経費の掛け方も含め考えていただき、継続することを期待しています。